

作成日 2019年12月24日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：高温耐熱型ペースト灰色 Heat Metal Paste(Hardener)

製品番号 (SDS NO)：0875001-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：高速硬化型補修用接着剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：旭エンジニアリング株式会社

住所：大阪府大阪市福島区鷺洲4-4-3

担当部署：管理部

電話番号：06-6452-5811

FAX：06-6452-5770

緊急連絡先電話：06-6452-5811

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分 4

皮膚腐食性/刺激性:区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1

皮膚感作性:区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分:該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 口をすすぐこと。
 飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	90-72-2	10 - 30	3-714; 3-762; 3-776
メルカプタンポリマー	-	70 - 90	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。
 呼吸困難のときは酸素吸入を行う。
 直ちに医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
 直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物、窒素酸化物、アンモニア、アミン類、硝酸、ニトロソアミン、刺激性の有機分解物を生成する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

汚染箇所を洗剤、水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

強酸、強酸化性物質、ハロゲン化合物、活性金属、次亜塩素酸カルシウム、次亜塩素酸ナトリウム、亜硝酸、その他のニトロソ化剤との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管**安全な保管条件**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

高温、着火源(裸火、火花等)から離して保管すること。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標**

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止**設備対策**

適切な換気のある場所で行う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具**呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

物理状態: 液体(ペースト状)

色: 灰色

臭い: アミン臭、メルカプタン臭

pHデータなし

沸点又は初留点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 可燃性

引火点: (タグ密閉式) > 93°C

自然発火点データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度: 不揮発性

VOC: < 1 %

相対ガス密度(空気=1)データなし

密度及び/又は相対密度: 1.04

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度 : 不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

粒子特性 : 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

高温、着火源(裸火、火花等)から離して保管すること。

混触危険物質

強酸、強酸化性物質、ハロゲン化合物、活性金属、次亜塩素酸カルシウム、次亜塩素酸ナトリウム、亜硝酸、その他のニトロソ化剤

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物、アンモニア、アミン、硝酸、ニトロソアミン、刺激性の有機分解物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール)

rat LD50=1000-1968mg/kg (IUCLID, 2000)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール)

rat LD50=ca. 1280mg/kg (IUCLID, 2000)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール)

ラビット (OECD TG 404, GLP) 腐食性 (IUCLID, 2000)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール)

ラビット Draize test: 重度の刺激性 (RTECS, 2009)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性データなし

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 2735

正式輸送名 :

アミン類、液体、腐食性、N.O.S.又はポリアミン類、液体、腐食性、N.O.S.

分類または区分 : 8

容器等級 : II

指針番号: 153

特別規定番号 : 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号 : 2735

正式輸送名 :

アミン類、液体、腐食性、N.O.S.又はポリアミン類、液体、腐食性、N.O.S.

分類または区分 : 8

容器等級 : II

特別規定番号 : 274

IATA 航空危険物規則書

国連番号 : 2735

正式輸送名 :

アミン類、液体、腐食性、N.O.S.又はポリアミン類、液体、腐食性、N.O.S.

分類または区分 : 8

危険性ラベル : Corrosive

容器等級 : II

特別規定番号 : A3; A803

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第3石油類 危険等級 III(指定数量 2,000L)

化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。

作成日 2019年12月24日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：高温耐熱型ペースト灰色 Heat Metal Paste(Resin)

製品番号 (SDS NO)：0875001-2

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：高速硬化型補修用接着剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：旭エンジニアリング株式会社

住所：大阪府大阪市福島区鷺洲4-4-3

担当部署：管理部

電話番号：06-6452-5811

FAX：06-6452-5770

緊急連絡先電話：06-6452-5811

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2B

皮膚感作性:区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 1

水生環境有害性 長期(慢性):区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分:該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語:警告

危険有害性情報

皮膚刺激

眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

漏出物を回収すること。

特別な処置が必要である。

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂 (数平均分子量 ≤ 700)	25068-38-6	50	7-1279; 7-1283
鉄粉	7439-89-6	50	—

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)

吸入：咳、喘鳴のおそれ

飲み込み：口、喉の痛みや発赤のおそれ

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

皮膚：刺激や発赤のおそれ

眼：刺激や発赤のおそれ、催涙のおそれ

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物、フェノール類を生成する。

消火を行う者への勧告

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

酸、塩基、酸化性物質、アミン類との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

乾燥した場所に保管すること。

(避けるべき保管条件)

飲食物、動物用飼料から離して保管する。

熱、着火源(裸火、火花等)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で行う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: ネオプレン、ニトリル、ブチルゴム、PVC、
エチルビニールアルコールラミネート

眼の保護具

化学用品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 液体(ペースト状)

色: 黒色

臭いデータなし

pHデータなし

沸点又は初留点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 可燃性

引火点: 266°C (1013 hPa)

自然発火点: 適用外

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧: 4.6×10^{-8} Pa (25°C)

相対ガス密度(空気=1): < 1

密度及び/又は相対密度: 1.16 - 1.18 g/cm³ (25°C)

動粘度: 7000 - 10000 mPas (25°C)

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度: 6.9 mg/liter

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数: log Pow 3.242

粒子特性: 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

酸、塩基、酸化剤、アミン類と反応する。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

0.5kg以上の製品に脂肪族アミンを加えると、発熱を伴って不可逆的に反応する。

避けるべき条件

300℃を超える温度は避けること。

350℃を超えると、激しく分解するおそれがある。

混触危険物質

酸、塩基、酸化性物質、アミン類

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、フェノール類

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

労働基準法: 疾病化学物質

ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700))

ラビット 刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-36, 2002 et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700))

ラビット 軽度の刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-36, 2002)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性[厚労省局長通達]

ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700)

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700))

cat. 1; DFGOTvol.19, 2003

生殖細胞変異原性

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

(ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700))

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 短期(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700))

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI/NITE, 2006)

水溶解度

(ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700))

0.0000041 g/100 ml (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

残留性・分解性

(ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700))

BODによる分解度:0% (既存点検)

生体蓄積性

(ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)エポキシ樹脂(数平均分子量 ≤ 700))BCF ≤ 42 (Check & Review, Japan)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

この物質は有害廃棄物として処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

容器は有害廃棄物として処理する。

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 3082

正式輸送名 :

環境有害物質、液体、N.O.S.

分類または区分 : 9

容器等級 : III

指針番号: 171

特別規定番号 : 274; 331; 335; 375

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号 : 3082

正式輸送名 :

環境有害物質、液体、N.O.S.

分類または区分 : 9

容器等級 : III

特別規定番号 : 274; 335; 969

IATA 航空危険物規則書

国連番号 : 3082

正式輸送名 :

環境有害物質、液体、N.O.S.

分類または区分 : 9

危険性ラベル : Miscellaneous

容器等級 : III

特別規定番号 : A97; A158; A197

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質

ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂 (数平均分子量 ≤ 700)

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂 (数平均分子量 ≤ 700)

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(X類)

ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂 (数平均分子量 ≤ 700)

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

有害性物質 分類9

航空法

その他の有害物件 分類9

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

指定可燃物

可燃性液体類(届出数量 2m³)

化審法

優先評価化学物質

ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂 (数平均分子量 ≤ 700)(政令番号87 人健康影響)

水質汚濁防止法

指定物質

鉄粉

法令番号 52

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 平成30年度）です。